

内分泌代謝科初期臨床研修プログラム(選択科)

研修責任者 岩淵 昌康

研修期間 4週～

I. 研修目標

対象となる疾患

糖尿病、甲状腺疾患、カルシウム代謝異常、間脳・下垂体・副腎系疾患などが対象となります。

①一般目標(GIO ;General Instruction Objective)

上記疾患の病態を理解し診察、診断、病状説明、治療方針の決定、適宜他科との連携などができる。

②行動目標(SBOs ;Structural Behavior Objectives)

糖尿病・・・食事指導・運動指導・薬物療法について理解し患者さんに指導できる。

甲状腺・・・検査計画と検査結果の把握、治療計画をたてることできる。

間脳・下垂体・副腎系疾患・・・負荷試験や画像診断などの検査計画や治療計画をたてることできる。

II. 方略(研修場所：外来、病棟、カンファレンス室)

問診、検査計画、治療について学ぶため、①外来診療またはその見学、②主治医として入院患者を受け持つ、③コメディカルとのカンファレンスでプレゼンテーションをする、ことが必須です。高齢者や生活習慣に原因のある患者さんたちと接して実現可能な治療方法について考察し治療目標に達するように患者さんとともに努力してください。

週間スケジュール

毎日 外来見学と入院患者さんおよび入院中の他科患者さんの診療。

月曜日～金曜日 糖尿病教室。

水曜日 17時30分から 外来カンファレンス(看護師、栄養士、薬剤師、臨床検査技師合同)。

木曜日 14時病棟カンファレンス。

III. 評価

総合評価として、知識、技能の学習成果をローテーション終了時に指導医とともに行う。

IV. 学会活動

内科地方会、内分泌学会および糖尿病学会地方会に発表することを目標にしています。

海外の学会でも発表していますので、やる気のあるかたは海外発表をめざしてください。

VI. 他科との連携

患者さんの手術や透析など他科の先生方にいろいろと依頼することが多いので、依頼書だけではなく主治医として積極的に先方の先生に相談する姿勢を歓迎いたします。